



校長通信

令和5年度29号 令和6年2月21日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

2月も半ばを過ぎ、日差しは春めいてきました。先日、南部梅林に行ってきたのですが、「一目百万 香り十里」と言われるだけあって、至る所、梅の花が満開で、とてもきれいでした。春は着実に近づいています。



しかしながら、この時期は、少し温かい日が続くと思ったら、急に寒くなったりと体調を崩しやすい季節でもあります。体調管理に十分ご注意ください。

《1・2年生 学年末考査スタート！》

2月20日～22日の3日間、学年末考査です。本年度、最後の定期テストです。今まで学習したことを、しっかり復習し、万全の体調、体勢でテストに挑んでほしいと思います。また、いつも、いつも、話すことですが、答案返却時、得点だけにとらわれず、しっかりと見直して、次に生かしてほしいと思います。残心！

《3年生 公立高校願書出願迫る！》

公立高校の一般出願受付が2月21日、22日となっています。それに伴い本校では、2月16日、一般出願校内提出日としました。公立高校志願者は、自分の適正、興味を踏まえて、家族とも話し合い、受験校を決定したと思います。本番で、自分の力がしっかり出せるよう、体調管理をしながら、学習を充実させてほしいと思います。春は、もうすぐ！

《全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選に出場しました！》

2月17日、和歌山県立体育館において、全日本都道府県対抗剣道優勝大会和歌山県予選があり、大将の部に出場しました。この校長通信で、私が試合に出て、負けた話を掲載すると、生徒の反応がとても良いので、今回も暴露します。1回戦、大阪の剣道強豪高校剣道部監督だった選手に、延長戦で面を決められ、敗退しました。

負けたのは、悔しいですが、剣道に「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。相手に打たれたのは、自分に隙があることを教えてもらっていることだから、打たれたことを感謝しなさいという意味です。この言葉を胸に、また稽古に精進します。

次の目標は、5月に京都で開催される剣道8段審査です。